

令和4年5月1日発行

No.194
5月号

伊賀市社協 だより



生活の心配ごと、困りごとをご相談ください。

5月12日は「民生委員・児童委員の日」

民生委員・児童委員とは

地域住民の立場にたって地域の福祉を担うボランティアです。

民生委員は、民生委員法に基づき、厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員です。また、民生委員は児童福祉法に定める児童委員を兼ねています。

民生委員・児童委員は

いつもあたたかい目で、地域を見守っています。

地域の一員として、担当の地域で高齢者や障がいのある方の安否確認や見守り、子どもへの声掛けなどを行っています。



民生委員・児童委員は

身近な相談相手・専門機関へのつなぎ役です。

医療や介護の悩み・妊娠や子育ての不安・失業や経済的困窮による生活上の心配ごとなど、ひとりで抱えていませんか？民生委員・児童委員は、様々な相談にのり、一緒に悩み、考えます。そして、相談内容に応じ、必要な支援が受けられるよう、地域の専門機関とのつなぎ役になります。また、活動中に知り得た相談内容や個人の秘密を守り、個人の人格を尊重することをお約束します。



伊賀市民生委員児童委員連合会 (事務局/伊賀市社会福祉協議会 企画調整課 ☎21-5866)

5月12日は「民生委員・児童委員の日」

新型コロナウイルスの影響により、
民生委員・児童委員の活動も大きく制約を受けています。
しかし、伊賀市内ではそれぞれの地域ごとに、
つながりを絶やさないための様々な取り組みが展開されてきました。

民生委員・児童委員は、「コロナだから仕方ない」ではなく、
「どうすればつながれるか」を考えながら活動しています。

地域の一員として、季節や天候、社会情勢を問わず、
担当の地域で高齢者や障がいのある方の安否確認や見守り、
子どもたちへの声掛けなどを行っています。

地区民生委員児童委員協議会の活動事例紹介

●上野北部地区民生委員児童委員協議会

府中地区

例年、地元の小

学校の福祉体験の授業のお手
伝いをしています。令和3年
度は、校区内にある自動車販
売会社の協力を得た「福祉車
両の乗車体験」のほか、「ユ



ニバーサルデザイン」に触れたり、「高齢者疑
似体験」や「手話体験」、「車いす体験」の5つ
の体験を行いました。いつも登校時に交通安全
指導に立つ民生委員児童委員と児童が顔なじみ
になり、より繋がりが深まったように感じます。

諏訪地区

令和3年7月、ふれあい・

いきいきサロンに伊賀白鳳
高校ヒューマンサービス科
のボランティア部のみなさん



に来てもらい、ひまわりの花のうちの作り方
を教えてもらいました。うちわを気に入って、家
に帰ってから何個もうちわをつ
くり、お家の中に飾ったり、お
友達におすす分けをされた方も
いました。

三田地区

三田地区には住民自治協議会
主催のサロンがありました。コ
ロナ禍により中止してしまし
た。令和3年12月、参加者や住



民自治協議会からの要望もあり、2年ぶりに開
催することができました。参加したみなさんも、
久しぶりの再会に表情がほころび、会話にも花
が咲いていました。民生委員児童委員も、参加
者の様子から、改めて「集う場は、地域にとつ
てなくてはならない大切なものである」と感じ
ました。

●伊賀地区民生委員児童委員協議会

伊賀地区民協では、部会活動の一環として視
察研修や研修会等を行っています。今年度は新
型コロナウイルスの感染拡大防止のため、大勢
の人が参加できない状況のなか、動画での伝達
研修を行いました。

地域福祉部会の研修として「みんなのまな
防災」を行い、災害時でも家にあるもので温か
い食事をつくる「お☆ふくろめし」の体験、新
聞スリッパをつくり卵の殻の上を歩く「がれき
体験」、非常用持ち出し袋の中身の確認などを
行いました。研修の様子を撮影した動画を全体
会で流しながら研修
報告を行い、新聞ス
リッパの作成も全員
に体験してもらうこ
とで学びの共有がで
き、防災への意識や
日頃からの備えにつ
いて考える良い機会
となりました。



ふるさと伊賀から、一人暮らしの学生へメールも贈ります!!

いが学生\メール\便



新型コロナウイルス感染症の
感染拡大により影響を受けている
一人暮らしの学生のみなさんを、
ふるさと伊賀から応援します。



▲梱包イメージ

- 対象** 伊賀市出身の一人暮らしの学生（大学・短大・専門学校生等）
- お届け内容** 伊賀産のお米および、保存食品、生活用品などの詰め合わせ
- 申込方法** 専用申込フォームもしくは伊賀市社協ホームページより、必要事項をご記入ください。
- 申込期間** 令和4年1月～令和4年12月23日（金）
- お届け方法** 申込後、2週間程度で宅配便でお届けします。
☆不在連絡票が入っていた場合は、配送業者に連絡の上、速やかにお受け取りください。
☆申請後、帰省などで長期間不在になる場合は、下記までご連絡ください。

申込・問い合わせ先

社会福祉法人 伊賀市社会福祉協議会
企画調整課
☎0595-21-5866 FAX0595-26-0002

申込専用フォーム



この事業は、「伊賀市社協 新型コロナウイルス対策緊急支援募金」を活用します。また、お届けするお品は、地元企業などからのご支援を得て実施します。

生活の危機にある人や子どもたちを一人でも多く救うために

●新型コロナと生活への影響

新型コロナ感染症の感染拡大は、引き続き市民生活に大きな影響を与えています。生活困窮者の急増や、感染拡大防止のため、人と人との関わりに距離をとらざるを得ないなど、生活課題をより拡大させ、解決を阻む事態となっています。感染拡大防止を進めながら、制約されてしまった人と人とのかかわり、生きがいや意欲、地域社会とのつながりについて、社会の絆のあり方を再考し、感染拡大の収束後を見据えた福祉のあり方を構築し、誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現に向けて努力していかねばならないと考えています。

●生活課題の解決を計画的に推進

令和3年度には、伊賀市が策定する理念計画としての第4次伊賀市地域福祉計画が策定され、また、

地域住民等が地域福祉に参画して地域課題を解決する第4次伊賀市地域福祉活動計画も策定して、取り組みがはじまりました。

●地域福祉推進体制を強化

当会の目標である「伊賀市を生活上の課題を持つ人が日本一少ない町にする」を達成し、さらに、第4次伊賀市地域福祉活動計画で目指す「緊急時においても『その人らしい生き方』ができる地域社会の実現」を目指すために、第3次経営基盤強化計画の取り組みを進めます。

当会は、行政はもとより市民や地域活動団体、社会福祉法人、企業等の協力を得て、次のことを着実に進めます。これらを実行するための組織的課題(ヒト・モノ・カネ)の解決と法令遵守(コンプライアンス)、内部統制を強化します。

基本方針 (抜粋・要点)

●地域福祉を支える体制づくり

- ▶生活課題解決への対策を進める
- ▶社会課題解決支援(ファンドレイジング)の推進

●持続できる組織づくり

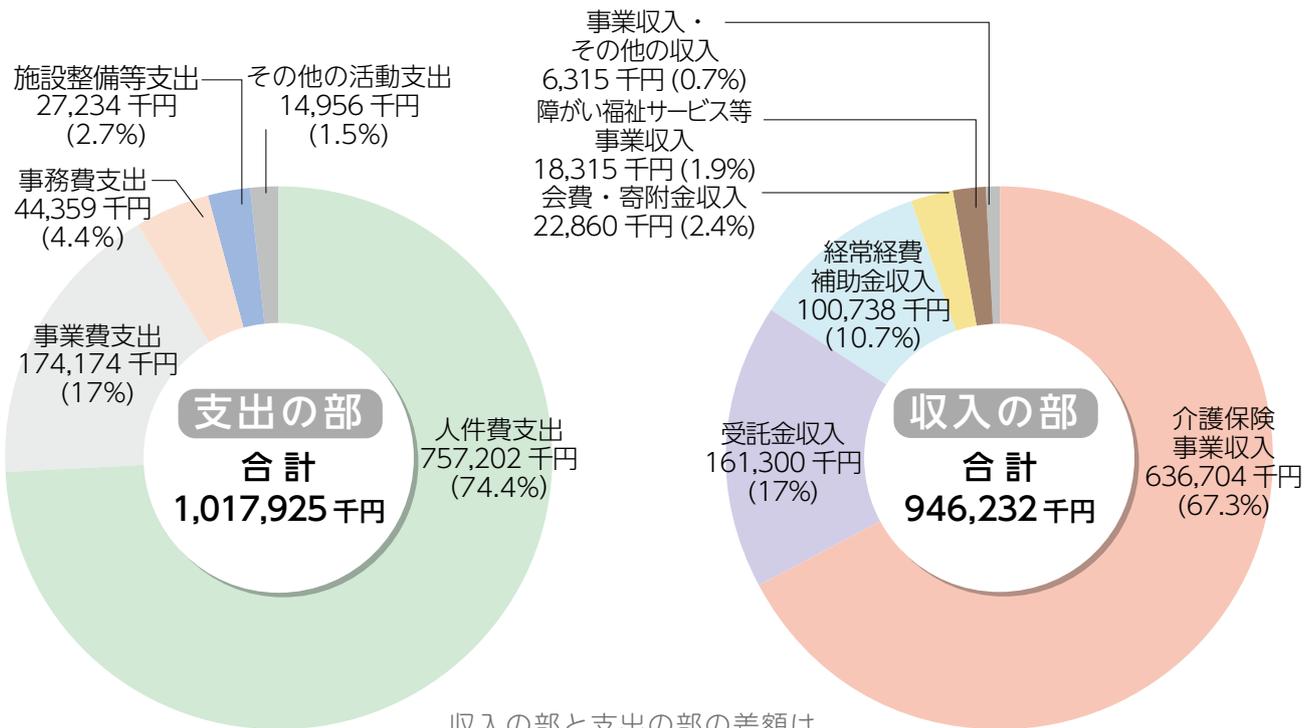
- ▶当会が担う介護サービスの方向性の検討
- ▶介護サービス等活動拠点の見直し

●財務状況の改善

- ▶サービスの収益性を高める経営基盤強化
- ▶生活課題解決のための財源確保
- ▶コスト意識の醸成

●法令遵守(コンプライアンス)、内部統制の強化

- ▶良質なサービス提供のための委員会設置
- ▶人財育成と次代継承に向けた組織づくり



収入の部と支出の部の差額は、当期資金収支差額となります。

季節の変わり目ですね

羽毛製品が募金になります。

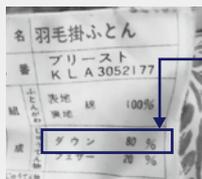
県内市町
実績第5位

令和3年 募金実績額 **24,740 円**



羽毛布団
75 枚

ダウンジャケット
37 枚



ダウン率
50%以上

穴が
あいている

汚れている

ダウン率
50%未満

濡れている

綿・ポリエステル
フェザー布団
枕・クッション
は回収できません

個人、地域、団体、企業、学校で・・・
羽毛製品の回収に、ご協力ください



○羽毛製品がございましたら、最寄りの伊賀市共同募金委員会窓口(社協各地域センター)までお持ちください。お持ち込みが困難な場合は、お気軽にご相談ください。

上野地域センター ☎21-1112 いがまち地域センター ☎45-1012 島ヶ原地域センター ☎59-3132
阿山地域センター ☎43-1854 大山田地域センター ☎47-0780 青山地域センター ☎52-2999

◇この講習会は、市民ふくし大学講座 専門講座として認定されます。



基礎講座

+

専門講座 ▶

シニアのための… “いきいき教室”

いつまでも元気で暮らしたい・・・誰もが望むことです。2025年には65歳以上の5人に1人が認知症になるといわれていることから、認知症予防をテーマとした講座を開催します。★今回で7回目の開催ですが、内容は今までとほぼ同じです。

定員
30名参加費
無料

回数	開催日	教科内容	講師
第1回	7月23日(土) 13:30~15:00	開校式・「認知症サポーター養成講座」 ・「地域における見守りについて」	伊賀市地域包括支援センター 伊賀市社会福祉協議会
第2回	8月27日(土) 13:30~15:00	認知症と生活習慣病について ～病気とうまく付き合っていくために～	杉島 珠美 (認知症認定看護師)
第3回	9月24日(土) 13:30~15:00	認知症についてどれくらい知っていますか? ～認知症の理解と対応～	平尾 文雄 (上野病院 院長)
第4回	10月22日(土) 13:30~15:00	食べ物と認知症との関係 ～食生活で気をつけること～	竹内 恵美子 (管理栄養士・精神科認定栄養士)
第5回	11月26日(土) 13:30~15:00	睡眠の話 ～不眠～	藤井 勇佑 (精神科診療部長)
第6回	12月17日(土) 13:30~15:00	終活について ～避けては通れない死について考える～	中住 薫 (看護部長)
第7回	R5年1月28日(土) 13:30~15:00	脳を活性化するプログラム 修了式	奥谷 佳緒里 (看護師)

○会場／上野病院リハビリ棟 2F

(伊賀市四十九町2888) ※無料駐車場有

○対象者／伊賀市内にお住まいの65歳以上の方

○申込期間／5月31日(火)までに、お電話またはFAX

にて、住所・氏名・電話番号をお知らせください。

※申込期間内でも、定員に達した時点で締め切り。

○修了／5回以上の参加で、修了証書を発行します。

○その他／体を動かしやすい服装でお越しください。

筆記用具、1回目に配布する「いきいき教室」のファイルを毎回ご持参ください。

【感染対策をお願いします】

- 教室参加日は必ず体温を測定し、37.0度以上あるときはお休みしてください。
- マスクを着用してお越しください。
- 新型コロナウイルス感染症の感染状況にて中止になる場合があります。

お申し込み・連絡先



上野病院

一般財団法人 信貴山病院分院 上野病院 担当：奥谷・北森

☎0595-21-5010 / FAX 0595-21-5100

■主催／一般財団法人 信貴山病院分院 上野病院 ■後援／伊賀市地域包括支援センター・伊賀市社会福祉協議会

自分らしく 15～49歳までの、
踏み出す 働きたい悩みを抱えている人と
その家族を支援しています。

就職相談 各種講座 利用無料 要予約

無料パソコン講座

【ワード】5月10日(火)/13日(金)
時間 9:30～12:00

【エクセル】5月17日(火)/20日(金)/24日(火)
時間 9:30～12:00

サポステ出張相談(ハローワーク伊賀)
5月17日 ☎13:00～16:00

Q 氷河期世代って?
A 氷河期世代とは1990～2000年代の雇用環境が厳しい時期に就職活動を行い、現在も様々な課題に直面している方々のことをいいます。

若者の職業的自立のための総合相談窓口

サポステ

いが若者サポートステーション

☎&FAX/0595-22-0039
✉ iga-saposute@npo-en.or.jp
伊賀市上野丸之内500 ハイピア伊賀3階
■開所日/月～金 9:00～17:00 (土日祝・年末年始は休み)

広告募集中!



**介護に関する入門的研修
(出前研修)**

介護未経験者が、介護に関する基本的な知識を身につけ、介護の業務やボランティア等に携わる上で知っておくべき基本的な技術を学ぶことができるよう、会場への講師派遣、またはインターネットによるオンラインでの研修を実施し、介護に対する不安を払拭するとともに、介護分野への多様な人材の参入のきっかけ作りを目的に実施します。

【申込者】本研修会の開催を希望する三重県内の企業・自治体・教育委員会・学校法人その他の団体※介護事業所を運営する法人・団体を除く

【受講者】三重県内に居住する介護未経験者で、介護に興味があり、介護を学ぶ意欲をお持ちの方

※最低参加人数5名以上

【内容】

●基礎コース／基礎講座（介護に関する基礎知識1.5時間・介護の基本1.5時間）

●テーマ別コース／「介護に関する入門的研修カリキュラム」より、内容や時間、講義形式を申込者と調整し決定。
(概ね1時間～3時間)



【費用】受講料無料

【申し込み期間】

令和5年1月31日(火)まで

【実施期間】申し込み者の希望を考慮し決定。※令和5年2月24日(金)まで

【問い合わせ先】三重県社会福祉協議会
福祉人材センター

☎059・224・1082

**令和4年度
三重ボランティア基金助成**

●ボランティア団体基盤強化助成

福祉活動を目的としたボランティア団体の基盤強化を図るための器材・器具の助成。※申請する器材が、団体の基盤強化とならない場合は対象外

【対象】社協ボランティア登録団体

【助成金】1団体20万円以内

●ボランティア活動資金助成

福祉活動を目的としたボランティア団体の実施する事業で、先駆的・モデル的な活動（福祉のまちづくり）を対象とした助成。※備品購入は対象外

【対象】社協ボランティア登録団体

【助成金】1団体50万円以内で、令和4

年4月1日～令和5年3月31日まで完了する事業

●子どもの居場所づくり活動支援助成

子どもの居場所づくりに取り組むボランティア団体が、助成対象事業に掲げる活動を対象とした助成。

【対象】社協ボランティア登録団体で、子どもの居場所づくりを目的とした活動を行う団体

【助成金】運営費▼1団体10万円以内
／環境整備費▼1団体50万円以内

いずれも、令和4年4月1日～令和5年3月31日までに完了する事業

●生きづらさをかかえる方の居場所づくり活動支援助成

生きづらさをかかえる方を支援するための居場所づくりに取り組むボランティア団体が、助成対象事業に掲げる活動を対象とした助成です。

【対象】社協ボランティア登録団体で、生きづらさをかかえる方の居場所づくりを目的とした活動を行う団体

【助成金】運営費▼1団体10万円以内
／環境整備費▼1団体50万円以内

いずれも、令和4年4月1日～令和5年3月31日までに完了する事業

【応募方法】三重ボランティア

基金ホームページから申請書をダウンロードして提出



【応募締切】三重ボランティア基金に、令和4年5月13日(金)必着

※社協推薦を記入する必要があるため、申請される方は、5月10日(火)までに、伊賀市社協まで提出。

【問い合わせ先】伊賀市ボランティア・市民活動センター ☎21・5866

毎月の寄付者募集

生活の危機にある人や子どもたちを一人でも多く救うために、
あなたも「毎月の寄付者」になりませんか。

申込・問い合わせ

伊賀市社会福祉協議会
☎21-5866・FAX26-0002

▶ホームページからもお申込みもできます。詳細は案内をお送りしますので、ご連絡をお待ちしております。



数字で見る伊賀市の福祉

令和4年2月末現在 (前月比)

伊賀市の人口	▶ 88,053人 (-150人)
65歳以上の高齢者	▶ 29,583人 (-38人)
高齢化率	▶ 33.6% (±0%)
75歳以上の高齢者	▶ 15,566人 (-17人)
後期高齢化率	▶ 17.7% (±0%)
介護保険認定者数	▶ 6,174人 (-22人)

※伊賀市の人口、65歳以上の高齢者及び高齢化率、75歳以上の高齢者及び後期高齢化率には、外国人住民を含めています。
 ※75歳以上の高齢者の全人口に占める割合を、後期高齢化率と表記しています。
 ※介護保険認定者数は要支援・要介護認定者数です。

あなたのまちのふれあいいきいきサロン No.180



大山田いきいきサロン連絡会

メンバー数 / 19 団体
 開催場所 / 大山田農村環境改善センター
 開催頻度 / 年1～2 回程度

大山田では、各地域にあるサロンがより活発なサロン活動を行うため、情報交換や相談の場、学びの場として、サロン連絡会を開催しています。

令和3年度は、感染症対策を取り入れたレクリエーションを実践を通して学んだあと、それぞれがコロナ禍でどのように活動しているのかを発表しました。しばらく休止しているサロンや、より感染症対策を強化して継続しているサロン、声かけ訪問に切り替えていたサロンなど、それぞれの地域で考え、話し合いながら、過ごされていたことがわかりました。参加された方は「他のサロンがどうされているのかわかってよかったわ」「時々こういう情報交換ができる場がほしいわ」と笑顔で話してくれました。

今後も大山田地域のサロン活動者がつながれる場として、みなさんとともに大切に進めていきたいです。

我ら！ふくしレンジャー No.189



どうやま けいこ
堂山 圭子さん(36歳)
 鍼灸院でてくてく
 (阿山在住)



●活動を始めたきっかけ

自身が母親になったばかりの頃は余裕がなく、怒ったり泣きたくなったりすることも多々ありました。そんな時、我が子へ鍼灸を施術したところ、落ち着き、言葉が伝わりやすく感じ、子育てが楽になりました。子育ての孤独感や大変さを経験し、子育て中の方にサポートできることを考えるようになりました。

●活動内容

子育て中の方には自身も時間も大切にしてもらいたく、託児可能な鍼灸院を経営しています。鍼灸の魅力をお伝えしたく、サロンや老人クラブ、子育て支援センター等で、育児や健康等のお話をしています。SDGsの一環で、成長が早い子どもの衣類を必要な方へ回す「娘のお下がりを交換しませんか？プロジェクト」をしています。

●今後の抱負

夏頃には鍼灸院に、子育て世代や妊活中の人同士の交流の場やシニア世代の健康づくりなど、共通の話題や目標を持った人が集えるコミュニティスペースの新設を考えています。一人ではできないことも繋がり合えることで支え合える鍼灸院にしていきたいです。

今年度は、第4次伊賀市地域福祉活動計画を策定して、2年目を迎えます。今回の計画は、課題解決に取り組んだ成果を測定しやすいよう、予め評価指標の例を示しています。みなさんと進捗状況を確認できるように、準備を進めて参ります。

編集後記

編集・発行

伊賀市社会福祉協議会

本部	〒518-0829 平野山之下380番地5 伊賀市総合福祉会館 1階 ☎0595(21)5866 / FAX0595(26)0002
上野	〒518-0829 平野山之下380番地5 伊賀市総合福祉会館 1階 ☎0595(21)1112 / FAX0595(21)8123
地域センター	いがまち 〒519-1413 愛田 513 番地 いがまち保健福祉センター「愛の里」 ☎0595(45)1012 / FAX0595(45)1050
	島ヶ原 〒519-1711 島ヶ原 4743 番地 島ヶ原福祉センター「清流」 ☎0595(59)3132 / FAX0595(59)3145
	阿山 〒518-1313 馬場 1128 番地の1 阿山保健福祉センター ☎0595(43)1854 / FAX0595(43)1577
	大山田 〒518-1422 平田 656 番地の1 大山田福祉センター ☎0595(47)0780 / FAX0595(46)1165
青山	〒518-0226 阿保 1988 の1番地 青山福祉センター ☎0595(52)2999 / FAX0595(52)3555

